

県立高等技術専門校の整備・運営について 概要

■現プランの実績

・普通課程(H23→H27)
 訓練科数 19科→17科
 入校定員 335人→300人
 入校者 295人→233人
 入校率 88.1%→77.7%

・短期課程施設内訓練(H23→H26)
 訓練科数 10科→9科
 入校定員 85人→75人
 入校者 69人→57人
 入校率 81.2%→76.0%

・短期課程委託(H23→H26)
 計画定員 2,010人→2,091人
 入校者数 2,065人→1,560人

■計画期間

平成28年度～平成32年度(第10次職業能力開発計画と同期間)

■プランの位置付け→第10次職業能力開発計画の下部計画

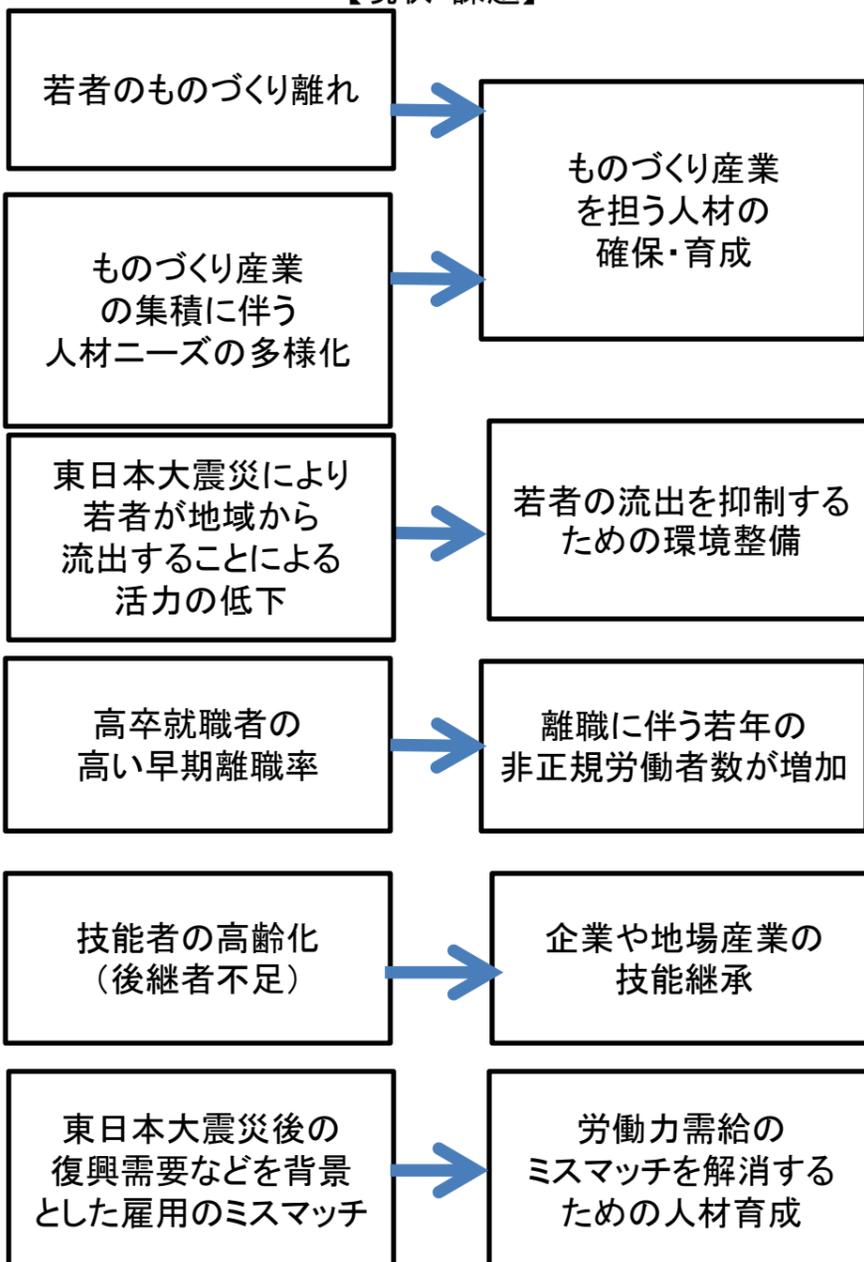
資料3-3

【基本的方向性】

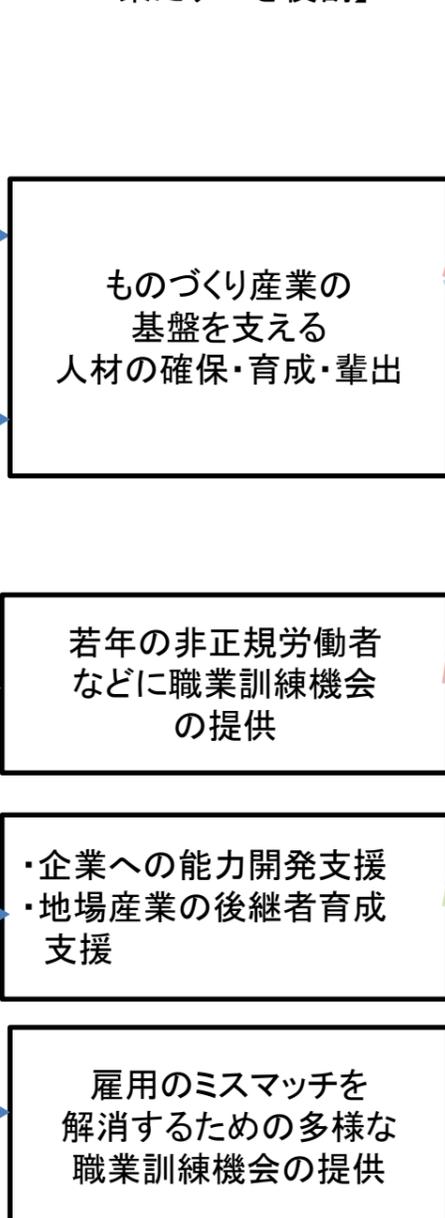
○東日本大震災からの復興をより確実なものにするために、本プランの計画期間内は現在の5校体制を維持しつつ、公共職業能力開発施設としての役割を果たしていく。

- ①高等技術専門校の訓練生の確保及び就職支援に努めていく。
- ②地域との連携を強化し、地域の若者が地域に貢献できる人材の育成に努めていく。
- ③施設内訓練科については、社会情勢や雇用情勢の変化に柔軟に対応しながら、新設・再編を行っていく。
- ④在職者の技能向上と訓練機会の提供を行うとともに、地場産業の後継者育成についても支援していく。
- ⑤雇用のセーフティネットの役割を果たすため、離転職者に多様な職業訓練の機会を提供していく。

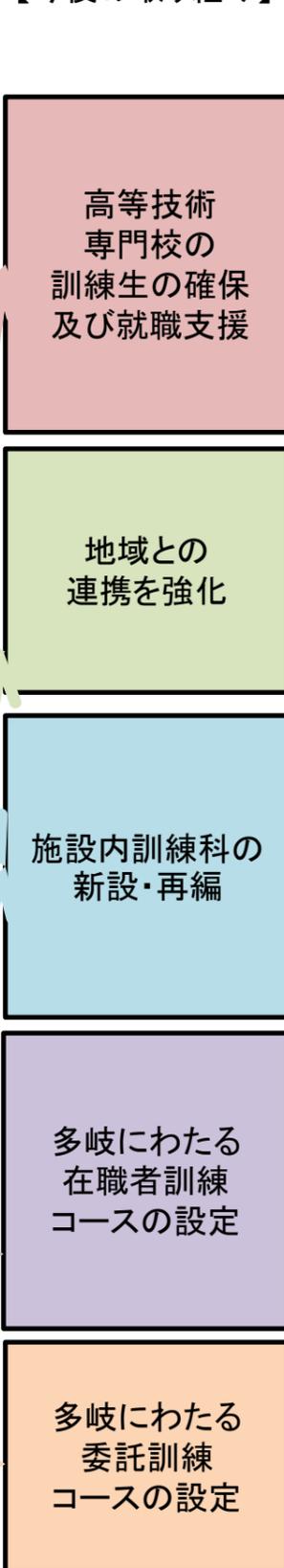
【現状・課題】



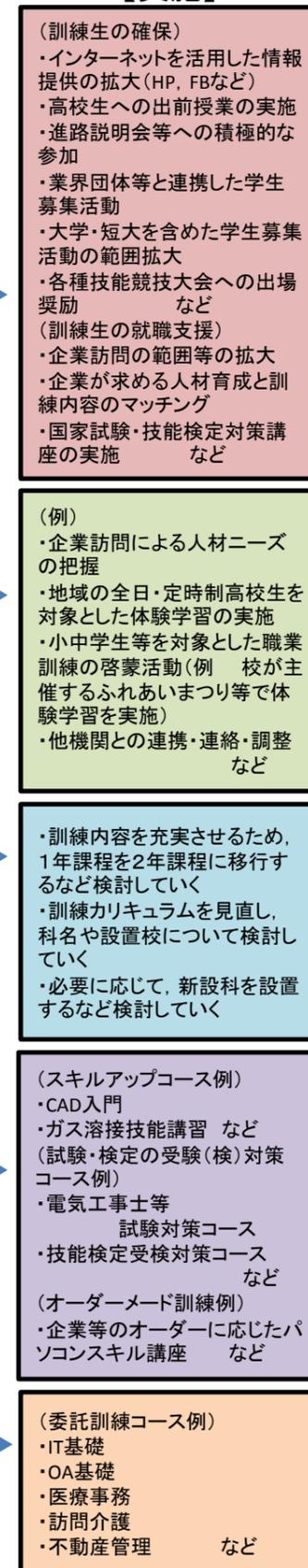
【高等技術専門校として果たすべき役割】



【今後の取り組み】



【実施】



【期待される効果】

